

1973年4月

事務用高速ファクシミリの1号機「リファクス600S」が アメリカとの国際間電送に成功

本機は2014年度「未来技術遺産」第00170号に認定されました

それまでA4原稿を1枚送信するのに3～6分かかっていた電送時間を一気に1分に短縮し、さらに国際間電送も可能にした世界初の事務用高速ファクシミリ、それがリコーの「リファクス600S」です。1973年4月の製品発表会では、世界で初めて東京とニューヨーク間で衛星回線経由によるファクスの送受信が行われ、「技術のリコー」の名を世界にとどろかせました。



アメリカに空輸されるリファクス600S(1975年)



リファクス600S (1974年)



夢の60秒高速ファクシミリ「リファクス600S」の発表会(1973年4月経団連会館にて佐藤栄作首相と館林社長)

関連サイト

リファクス600S: 公衆回線網に接続する世界初の一般事務用高速デジタルファクシミリ

<http://jp.ricoh.com/company/history/1970/rifax600s.html>